

プレスリリース [2024 年 9 月 3 日]

(計 2 枚)

燃やせないごみに混入するリチウムイオン電池等検知システムの 実証実験を行います

市では、リチウムイオン電池等から出火したとみられる、町田市バイオエネルギーセンターの不燃・粗大ごみ処理施設の火災を受けて、2022 年度からリチウムイオン電池等を検知する装置の調査と複数の装置メーカーにヒアリングを行ってきました。

その取り組みの中で、株式会社 PFU と株式会社 IHI 検査計測が進めてきた AI と X 線を用いた検知システムの共同開発に市が協力を行い、2024 年 3 月に試作機が完成しました。

この度、試作機の改良が進んだことから、市が収集した燃やせないごみを用いて効果等を検証するため、実証実験を行います。

■ 実証実験期間：2024 年 9 月 9 日（月）～9 月 12 日（木）

■ 実証実験場所：旧埋立地 旧リサイクル広場まちだ（建物内）
町田市下小山田町 3267

■ 実証実験の体制と役割

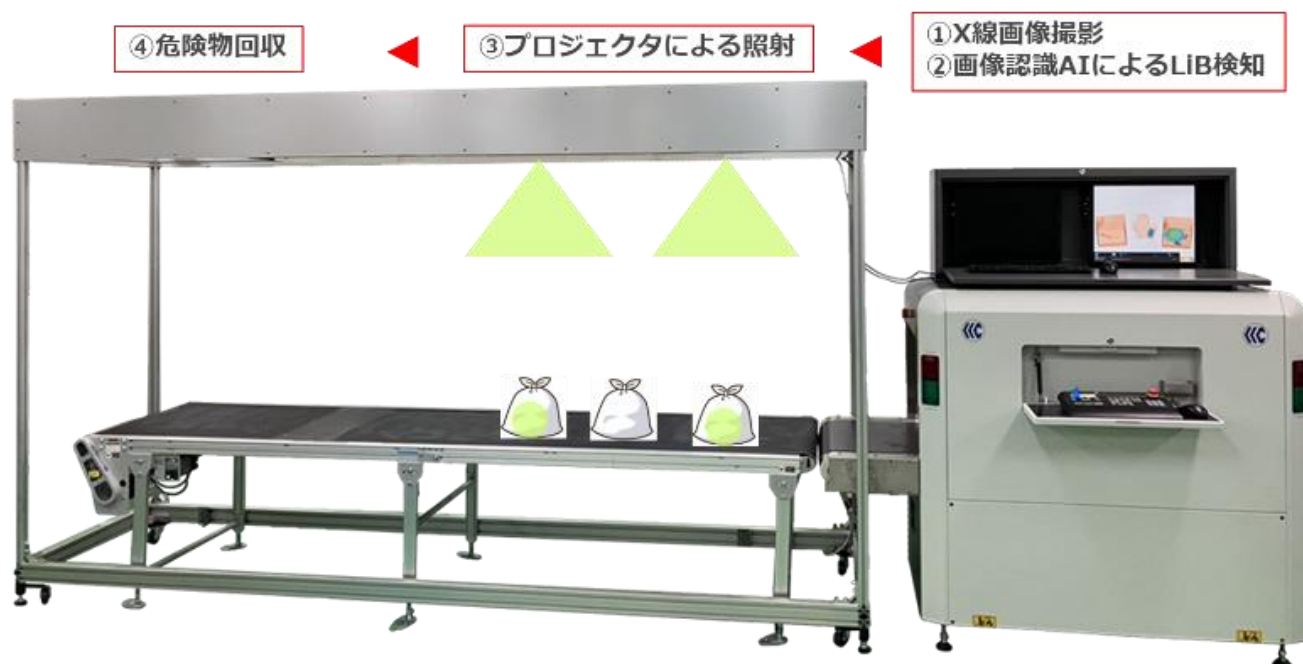
体 制	事業内容	役 割
町田市		実験場所の提供、 燃やせないごみの移送
町田ハイトラスト株式会社	町田市バイオエネルギーセンター施設運営	電池等を取り除く作業性検証の協力
株式会社 PFU	検知システム、AI 設計	検証作業全般
株式会社 IHI 検査計測	検知装置設計、製造	

■ 実証実験概要

実証実験を行う検知システムは、コンベヤを流れる燃やせないごみを X 線で撮影し、撮影した画像から AI がリチウムイオン電池等を検知します。X 線で検知されたリチウムイオン電池等は、プロジェクトでごみを照射し場所を可視化して作業員がリチウムイオン電池等を取り除きます。

今回の実験では、行政収集した燃やせないごみの中から様々な形状をした電池等を検知する精度や作業性の向上などを確認し、検知システムの効果を検証します。

[検知システムのイメージ]



■ 環境省及び東京都との連携

実証実験の実施にあたり、環境省及び東京都と情報共有を図りながら進めてまいります。



■ 関連リンク

環境省 リチウム蓄電池関係

https://www.env.go.jp/recycle/waste/lithium_1/index_00001.html

東京都「リチウムイオン電池 捨てちゃダメ！」プロジェクト

<https://www.kankyo.metro.tokyo.lg.jp/resource/recycle/battery>

■ 本件に関するお問い合わせ先

環境資源部循環型施設管理課 課長 平川 TEL 042 - 797 - 2732